

高山国道事務所管内 除雪出発式 ～冬の飛騨地域を支えるために～



本格的な降雪シーズンを前に、国道41号と中部縦貫自動車道の、冬季の円滑な道路交通の確保や、除雪作業の安全な実施に向けて、11月1日(水)に古川除雪センターにおいて除雪出発式を行いました。



佐藤副局長挨拶



除雪作業受注業者による安全宣言



除雪車両の安全点検



古川除雪センターを出発する除雪車両

出発式では、中部地方整備局 佐藤副局長の挨拶の後、除雪作業受注業者が除雪作業の安全を宣言し、安全点検を終えた除雪車両が古川除雪センターを出発！

除雪作業へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。
道路をご利用の際は、万全な冬装備をして頂き、大雪時には、不要不急の外出は控えていただくようお願いいたします。

ブータン王国の技術者が高山国道の 工事現場で研修を行いました

ブータン王国は国土の大部分が山岳地帯であり、その中で道路交通は大きな役割を担っていますが、その道路の大部分が急傾斜地にあるため、雨期には斜面崩落が頻発して交通が遮断されるといった事象が発生しています。

ブータン王国陸上交通局の皆さんが、日本で行われている道路斜面对策の仕組みや着眼点などを学ぶ目的で来日され、国内各地を研修する行程の一つとして、高山国道事務所の工事現場が盛り込まれました。



国道41号屏風岩改良の現場

急傾斜で不安定な岩の塊がある「屏風岩」を回避する目的で新しい道路を造っている「屏風岩改良」の工事現場にて、日本の道路防災事業の進め方や、落石対策などについてご説明しました。

また道路工事においては現場に生息している貴重種の植物に対する保全対策や、工事の安全対策についてもご説明しました。



中部縦貫自動車道 高山清見道路の現場

この工事現場では、長大切土法面に対する設計検討やその対策手法、および法面の挙動監視対策などについてご説明しました。

また直近にて火薬を使わずに機械で掘削を進めているトンネル工事の現場がありますので、そちらも合わせて研修していただきました。



現場も座学も熱心!

教科書でしか知らなかった斜面对策が、日本では実際に多く施工されていることが驚きだった！とのご感想をいただきました。

どこまで皆様のお役に立てたかは分かりませんが、来日された皆様のブータンでのご活躍を期待すると共に、我々も一層精進して頑張っていこう！と思う1日となりました。



来日された皆様、お元気で！

「歩道の雪またじ運動」開始式 ～地域の中高生が中心となり地域貢献～

「歩道の雪またじ運動」の開始式を、岐阜県立飛騨高山高校と高山市立松倉中学校の生徒と共に開催しました。



雪またじのデモンストレーションを行う生徒

雪またじ運動とは

「またじ」とは飛騨地域の方言で「片付ける」という意味で、「歩道にスコップがあれば誰でも必要なときに雪またじができる」という飛騨高山高校の生徒の発案で始まった運動です。

高山ライオンズクラブ様、飛騨三協防災対策協議会様のご協力により、スコップなど道具を提供していただき、国道41号の交差点など14箇所にスコップや凍結防止剤を設置しています。

通学のため道路をよく利用する中高生が中心となり歩道の「雪またじ」を行う取り組みです。



雪またじ運動の備品の贈呈

「歩道の雪またじ運動」位置図



赤いコーンが目印です。
赤白ポールに「歩道の雪
またじ専用スコップ」が
設置してあります。

「すべらん砂(すべらんさ)」
地下道には凍結防止剤も
設置しています。



皆さまも善意の「ひとかき」をお願いします！

ただ塗ってるだけじゃない！



下呂市にある小さな橋のはなし

みなさまが普段通っている橋も道路と同じく損傷したり劣化が進んだりします。そのため、より長く使い続けるために5年に1度点検し、必要に応じて補修しています。本日はそんな「橋の補修工事」についてご紹介します。

現場は国道41号、下呂市萩原町にある『桜洞橋(さくらぼらばし)』です。

冬の飛騨路に必要な「アレ」が橋を劣化させる！？

橋が劣化する原因のひとつに雨水等によるサビがあります。

最近の橋は、雨水の侵入を防ぐように考えられています。古い橋はすき間から水が侵入して鉄をサビさせます。更に冬の道路の凍結を防ぐための「凍結防止剤」は、ナトリウム等の塩化物を含んだ塩水になるため鉄製の橋にとっては大敵です。そのため橋が劣化する原因のひとつとなってしまうことがあります。



水 水 水

橋

劣化につながる

さびてしまった状態



さびを落とした状態
(鉄板が薄くなってしまった)



※薄くなった部分は補強を行います

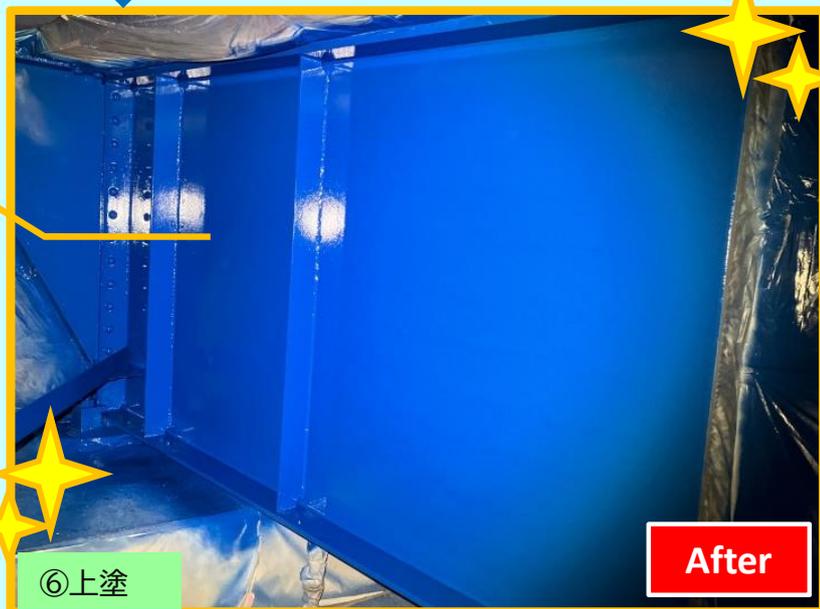
ここをPICK-UP！【塗装塗替工】

橋が今回、『桜洞橋』の補修方法のひとつとして「塗装塗替工」を行っています。橋をより長く使うためにさびや劣化した部分を1度きれいな状態に戻し、以前よりも耐久性の高い塗装へ塗り替える工法です。その過程では皆さんが目にして上塗りの部分まで、下の写真のように実は6回もの工程を経ています！！



※素地とは…塗装をはがし、鉄板そのものが見えた状態のこと

上記の工程を経て…
完成！



『桜洞橋』は「塗装塗替工」以外にも、水の侵入を防ぐ工事や傷んだところを直す工事などで現在も補修を進行中です！

工事期間中はご迷惑をおかけして大変申し訳ございませんが、引き続き工事へのご理解とご協力の程よろしくお願ひします。

編集・発行 中部地方整備局 高山国道事務所

〒506-0055 高山市上岡本町7丁目425番地
TEL (0577)36-3822 FAX (0577)36-3801



【HP】



【Twitter】

令和5年12月21日発行
担当：計画課